

日時

H25.11.1

場所

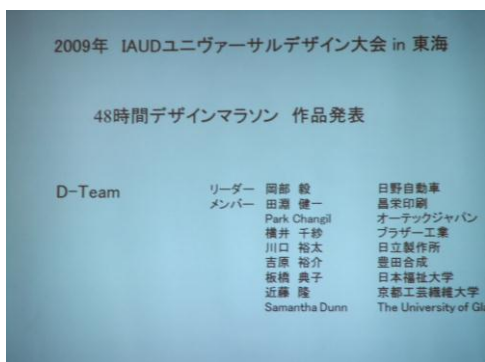
日進市中央福祉センター

講師：ハッピーマップ（ボランティア団体）担当 大島さん

内容：ユニバーサルデザインを知る



### 肢体障害者の家族の話を聞く



### ユニバーサルデザインについて

ユニバーサルデザインの基本コンセプト・・・出来るだけ多くの人が利用可能であるようなデザインにすること

ex.電車のホームは柵のない橋に立っているような感じ・・・柵をつけて転落防止をした

### ユニバーサルデザインの7原則

- ①公平性：どんな人でも公平に使えること（いつでもどこでも同じように操作）
- ②柔軟性：使う上での柔軟性があること（使用する時の自由度が高い。右利き左利き）
- ③簡単：使い方が簡単で自明であること（ひと目見ただけで使い方が理解できる）
- ④明確：必要な情報がすぐわかること（わかりやすい情報で理解しやすい）
- ⑤安全性：うっかりミスを許容できること（安心安全、ミスが危機に繋がらない）
- ⑥持続性：身体への過度な負担を必要としないこと（少ない力でも使用できる）
- ⑦空間性：アクセスや利用のための十分な大きさと空間が確保されていること  
(誰でも使える大きさや広さがある)

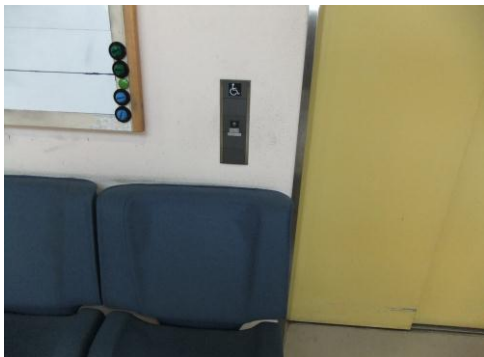
## 中央福祉センターの施設見学



トイレは引き戸で軽く開けられる



広さが狭いので方向転換できない



エレベーターボタンの前に椅子があって  
車いすに乗っていると押せない



トイレトーパーの下に  
呼び出しボタンがあって分かりにくい



## 各グループで発表



### 学生の感想

緊急時、停電したら障害者は大変困ると思う  
手すり・スロープのない階段は優しくない  
廊下をライトで照らすようにするとよい右側と左側でライトの色を変えて区別させてはどうか  
エレベーターのボタンが右と左にあると車いすで右利き左利きのどちらにも対応できてよい  
手すりにくぼみがあり握りやすかった。